

文化芸術活動基盤強化基金
クリエイター等支援事業(育成プログラム・構築・実践)
コンテンツ創造・海外展開のための実践的な社会人育成支援事業
～海外で活躍が期待される次世代クリエイティブ人材の育成プログラム～

2025年8月18日

一般社団法人カルチャー アンド エンタテインメント産業振興会(CEIPA)

【募集目的】

一般社団法人カルチャー アンド エンタテインメント産業振興会(以下、「CEIPA」という)では、文化庁の補助金により独立行政法人日本芸術文化振興会に設置された「文化芸術活動基盤強化基金」において、グローバルに活躍できる人材を育成する「クリエイター等育成プログラム」内の「コンテンツ創造・海外展開のための実践的な社会人育成支援」を実施・運営します。本プログラムでは、次代を担う若手クリエイター等の対象者(以下、「候補生」という)人材の育成を目的に、海外クリエイティブ活動に向けた指導・助言、海外活動拠点等への派遣やOJT(オン・ジョブ・トレーニング)、現地関係先とのネットワーク形成の促進、サポート等を行います。

CEIPAでは本プログラムを通じて、今後海外市場での活躍が求められる音楽業界人としての専門能力及び海外派遣対象地域を以下のとおり分類の上、それぞれの領域における専門家(以下、「メンター」という)からの指導のもと約28ヶ月に渡る継続的な支援を実施します。

<音楽業界人専門能力>

- プロデューサー
- 作詞・作曲家
- アーティスト

<派遣対象地域>

- 北米(ロサンゼルス)
- ASEAN(バンコク)
- 欧州(ロンドン)

本プログラムを通じて海外市場でも通用する「音楽業界人専門能力×対象地域」双方の専門性を身に付けることで、日本のポピュラー音楽シーンを牽引する人材となることを期待してCEIPAでは育成・支援します。

【本プログラムの実施期間】

2025年12月1日～2028年3月31日

*対象年度は以下のとおりとします。

初年度:2025年12月1日～2026年3月31日

2年目:2026年4月1日～2027年3月31日

3年目:2027年4月1日～2028年3月31日

【本プログラム候補生の卒業後の将来像(イメージ)】

本プログラムに参加した候補生から以下のような音楽業界人となることを期待しております。

- 海外現地で幅広いネットワークをもとに日系アーティストの展開・進出を支援するプロデューサー

- 海外主要国での TOP100 にチャートインを実現する作詞・作曲家
- 海外現地で数万～十万人規模フェスやイベントにキャスティングされるアーティスト
- CEIPA が主催する「MUSIC AWARDS JAPAN」における各種部門へのノミネート

【応募資格】

下記の 1、2、3 に該当する者

1. 日本国籍又は日本の永住資格を有するプロデューサー、作詞・作曲家、アーティスト活動をする者で活動歴が 10 年以内である者
2. 音楽活動における各種プロデュース業務、楽曲制作、アーティスト活動又は支援実績が 1 事例以上を有している者
3. 国内のポピュラー音楽活動に従事する企業又は団体に所属している者(*原則、組織に所属・専属する者を対象者としますが、フリーランスの者についても応募可能とします。本人能力・作品又は実績例をもって評価するものとします)

【募集人数】

計 9 名程度(*選考過程において候補者が増減する場合があります)

| | 北米(ロサンゼルス) | ASEAN(バンコク) | 欧州(ロンドン) |
|---------|------------|-------------|----------|
| プロデューサー | 1 名程度 | 1 名程度 | 1 名程度 |
| 作詞・作曲家 | 1 名程度 | 1 名程度 | 1 名程度 |
| アーティスト | 1 名程度 | 1 名程度 | 1 名程度 |

【参加費用】

候補生には、派遣先地域での OJT やクリエイティブ活動での渡航にかかる下記の費用を支給します。詳細については個別に協議の上、決定いたします。

- 渡航往復の航空賃(エコノミークラスの実費)※事務局にて手配予定
- 現地宿泊費※宿泊は事務局にて手配予定
- 渡航期間の海外旅行保険費用

【プログラム内容】

- ① メンター(メンターとなる指導員は以下を参照)からの直接指導
選定された候補生は、「音楽業界人専門能力」×「派遣希望地域」それぞれの領域におけるエキスパートであるメンターからの助言に基づき、育成計画を作成します。育成計画に基づき定期的にクリエイティブ活動を実践し、メンターより定期的なフォローアップをオフライン・オンラインのいずれかにおいて実施します。
- ② 海外活動拠点への派遣
初年度最長 1～1.5 ヶ月程度、2 年目最長 2 ヶ月程度、3 年目最長 2 ヶ月程度、北米(LA)、ASEAN(バンコク)、欧州(ロンドン)への派遣を実施します。派遣先への振り分けは本人希望及び適性を踏まえて決定します。
- ③ 海外活動拠点での各種プログラム等への参加
海外派遣先では活動拠点を提供するとともに、現地での市場感の醸成や現地ネットワーク形成を可能とする OJT や各種プログラム(Co-writing、オーディション等)を提供します。

<メンター概要>

(シニアメンター:中核となる指導員)

村井 邦彦(むらいくにひこ):アメリカ合衆国・ロサンゼルス在住。日本の作曲家、音楽プロデューサー。アルファレコード創立者。

(業界人専門能力(プロデューサー)メンター):プロデューサー育成指導員)

Music Ally Japan エグゼクティブ・プロデューサー 田島 敏(たじま びん) :ヒップランドミュージックコーポレーション前代表取締役社長として、数多くのアーティストプロデュース及び多くのプロデューサーを育成。FMPJ 副理事長、MPA 副会長を歴任

(業界人専門能力(作詞・作曲家)メンター):作詞・作曲家育成指導員)

(株)バグ・コーポレーション 代表取締役社長 山口 哲一(やまぐち のりかず) :音楽プロデューサーと並行し、2011年頃より著作活動を始め、作曲家育成、起業家育成を数多く手掛ける。内閣府知財戦略本部コンテンツ WG 委員など政府委員も歴任

(業界人専門能力(アーティスト)メンター):アーティスト育成指導員)

アソビシステム(株)代表取締役 中川 悠介(なかがわ ゆうすけ) :「KAWAII 文化」の仕掛け人であるとともに、きゃりーぱみゅぱみゅ、新しい学校のリーダーズ、FRUITS ZIPPER など海外でも著名なアーティストを多数プロデュース

(派遣地域(北米・LA)メンター):北米市場での育成指導員)

The Founder and CEO of Project Asteri, Inc, 加藤 公隆(かとう きみたか) :ユニバーサル インターナショナル 元マネージングディレクター、元執行役員として数多くの洋楽アーティストプロデュース。2016年よりLAを拠点に活動

(派遣地域(ASEAN・バンコク)メンター):ASEAN市場での育成指導員)

(株)KSR 代表取締役社長 山下 雄史(やました ゆうし) :ヒップホップ・クラブ・ダンスミュージックシーンを長年牽引し、アジア音楽にフォーカスしたレーベルを運営。IMCJ 理事長として日本音楽のグローバル化にも寄与

(派遣地域(欧州・ロンドン)メンター):欧州市場での育成指導員)

弁護士 Field-R 法律事務所 山崎 卓也(やまざき たくや) 25年以上にわたり、音楽業界を中心とするエンターテインメント業界、およびスポーツ業界に関する法務の専門家としてプロフェッショナルサービスを提供。現在はロンドンを拠点に活動

【成果報告書の提出】

本プログラムで学んだことや実践したプロジェクト、本プログラムを通じて開発(ブラッシュアップ)された制作物や実績、その他の進捗について、成果報告、プレゼンテーション資料をまとめ(ブラッシュアップ作品とあわせて)提出していただきます。なお、各年度末を目途に成果報告の機会を設ける予定です。

なお、滞在期間中は、定期的に滞在状況報告書を、滞在終了後は、滞在結果報告書を事務局に提出してください。提出された報告書の一部の内容は、本事業の公式ウェブサイト等を通じて、抜粋し公開させて頂くことがあります。そのため、ウェブサイト等での公表に係る報告書の著作権の使用についてあらかじめご了承ください。なお、報告書の提出がない場合は、滞在の事実が確認できないため、採択の決定を取り消し、滞在費の返還を求める場合があります。

【プログラム実施スケジュール(初年度)】

2025年12月:候補生9名程度の選定、選定に伴い事務局と協議の上、専門能力×派遣対象地域を決定

2025年12月:メンターとの面談により育成計画の決定。事前のクリエイティブ活動を実施

2026年1～2月:派遣対象地域でのOJT、海外クリエイティブ活動実施

2026年3月:成果発表会

*2年目以降のスケジュールは2026年1月末までに決定

【選考スケジュール】

2025年8月18日:公募開始

2025年9月30日:公募締切

2025年10月中旬:一次選考(選考委員による書類選考) ※10月下旬を目途に結果を連絡

2025年11月上旬:二次選考(事務局による面接) ※一次選考通過者のみ実施 ※オンラインまたは都内で実施予定

2025年11月中旬:最終選考(メンター及び事務局による面接)により候補生最終決定

【選考方法】

(1) 一次選考(書類審査) 選考委員による厳正な書類審査を行い、二次審査に進む応募者を選定いたします。全応募者に2025年10月24日頃に合否結果をお知らせいたします。

(2) 二次選考(オンラインまたはオフライン面接) 一次書類審査を通過した応募者に、2025年11月上旬に事務局による面接及び審査を行います。

(3) 最終選考(オンラインまたはオフライン面接) 二次選考を通過した応募者に、2025年11月中旬にメンター及び事務局による最終面接及び審査を行います。面接の詳細は、別途事務局から対象者にご連絡いたします。原則として、選考の経過および内容に関する問合せはお受けできませんので、予めご承知おきください。

【留意事項】

以下内容に同意の上でご応募ください。

- ✓ 2025年12月から2028年3月の間、海外での滞在を含め本プログラムに参加できることとします。
- ✓ スケジュールの詳細は事務局やメンターと協議の上、決定します。
- ✓ 滞在期間中は研修に専念し、事務局の指示に従って各種指導・レクチャー・ディスカッション等に積極的に参加し、必要であれば事前準備も行うこととします。
- ✓ 上記記載の事務局が負担する費用以外は自己負担することとします。
- ✓ 育成対象者に決定した場合、氏名等がCEIPAのホームページ等で公表されることとします。
- ✓ 各プログラムの終了後、アンケートへの回答、また、報告書の提出に協力し、毎年度末に予定している成果報告会に参加することとします。
- ✓ 日本芸術文化振興会や文化庁(またはその委託先)が、事業全体の広報を目的に、プログラム実施の様子を撮影・録画・録音することがあります。その内容を使用および掲載することがあるため、ご了承下さい。

【応募期限】

2025年9月30日正午まで

【提出書類等】

応募フォームに必要な事項を記入し、提出して下さい。

▶[応募フォームはこちら](#)

この際、以下は、任意の共有サービス(Google drive, Box, Dropbox など)、動画配信サービス(YouTube、Vimeo など)にアップロードし、共有リンクをフォーム内所定箇所に記入下さい。

- ・クリエイティブ活動実績(プロデューサー志望者は関与作品・プロジェクト実績、作詞・作曲家志望者はこれまで制作した代表作品、アーティスト志望者はパフォーマンス映像等)
- ・個人情報取扱同意書(以下リンクから同意書をダウンロードし、日付・氏名・署名を記入したもの)

▶[個人情報取扱同意書はこちら](#)

【応募に関する注意事項】

- ✓ 郵送でのご応募は受付しておりません。
- ✓ ご応募後、入力いただいたメールアドレス宛に、ご自身の回答内容の控えと受領メッセージが自動送信されます。万が一、受領メッセージが届かない場合は、恐れ入りますが事務局までお問い合わせください。
- ✓ 登録や提出の内容に不備がある場合、受理することができませんのでご注意ください。
- ✓ 提出資料について提出資料の返却および受領の連絡はしませんのでご了承ください。
- ✓ 提出いただいた書類に関して事務局より問い合わせさせていただく場合があります。
- ✓ 選考に関する問い合わせについて原則として選考の経過および内容に関する問合せはお受けできません。
- ✓ 候補生の公表について育成対象者の決定後、氏名、専門分野等の情報を本事業の公式ウェブサイト等を通じて公開する予定です。その他正当な理由なく決められたプログラムに参加しない場合や、事務局の指示に従わない場合等は、育成対象者の決定を取り消すことがあります。

【よくある質問】

Q1: 渡航・滞在費はいつ振り込まれますか。

A: 日本出国日の前にご指定の口座に振り込みます。

Q2: 保険は自分で入る必要がありますか？

A: 海外旅行保険については事務局で手配する予定です。

Q3: ビザを取得する必要はありますか？

A: 本研修では取得する必要はありません。

Q4: 派遣後の宿泊先は自分で手配する必要がありますか？

A: 事務局で手配します。

応募に関する問い合わせ先
一般社団法人カルチャー アンド エンタテインメント産業振興会(CEIPA)
次世代クリエイター育成プログラム事務局
candidate@ceipa.net